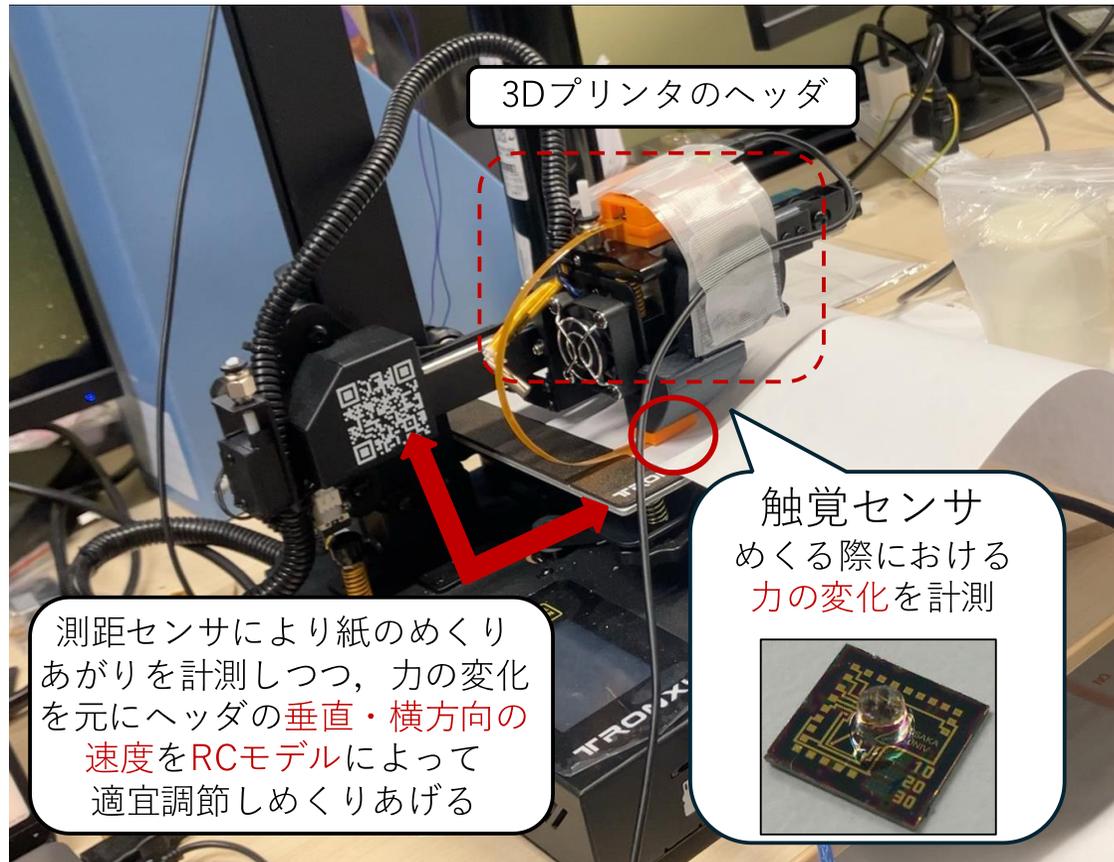


2024年度未踏ターゲット事業（リザーコンピューティング技術を活用したソフトウェア開発分野）

触覚情報の応用を拓くりザーコンピューティングによるAIモジュールの開発

－ 触覚情報による紙めくりシステムの実証 －

坪倉 奏太(京都大学 人間・環境学研究科) 武貞一樹(立命館大学 情報理工学研究科)



実装したシステムの概要

背景

触覚情報は、様々な製造現場や農作業現場などにて用いられているが、触覚情報の産業応用は進んでいない現状にある。

目的

リザーコンピューティング(RC)モデルを用いた、触覚情報を利用するための基盤的なAIモジュールの開発。

開発成果の特徴

RCモデルにて紙をめくり上げる動作を制御するシステムを実装。制御には強化学習を利用。

社会への影響

製造現場等へ触覚情報を導入し、労働力不足等の問題を抜本的に解決する未来を拓く。また、工芸品が持つ質感に代表される人間の繊細な手技を解析する可能性も拓いた。